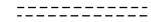
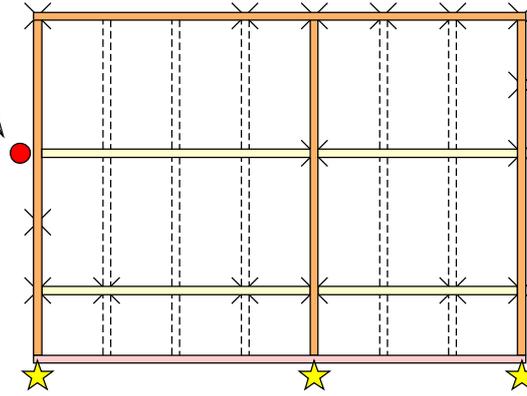


荷重分布図の書き方

I

①
 スパン途中で小梁を受けるヶ所に
 ●印を付ける
 ※小梁とは仕口の勝ち側の梁

-  大梁
-  小梁
-  持出し梁
-  根太(甲乙梁)
-  下階柱

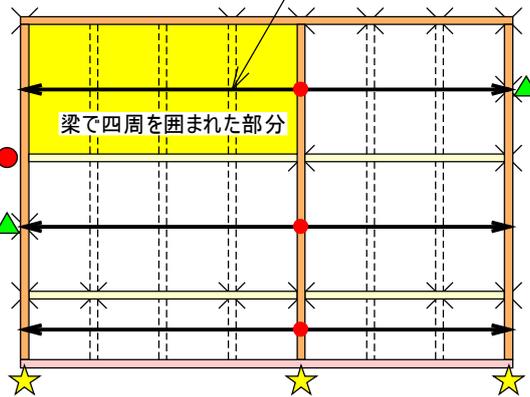


②
 持出し梁の先端に★印を付ける

II

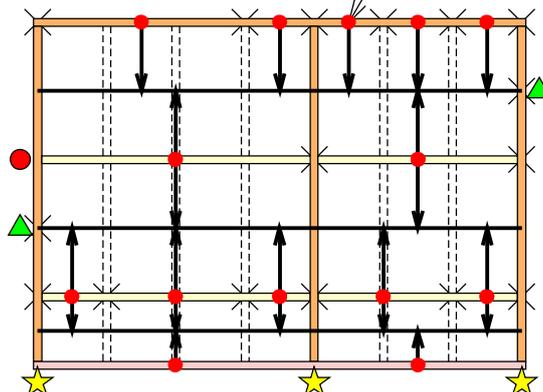
①
 梁で四周を囲まれた区画ごとに根太(甲乙梁)と
 直行方向に区画を2等分する位置に境界線を引く

②
 引かれた境界線の端部が、柱位置の
 場合は▲印を付ける



III

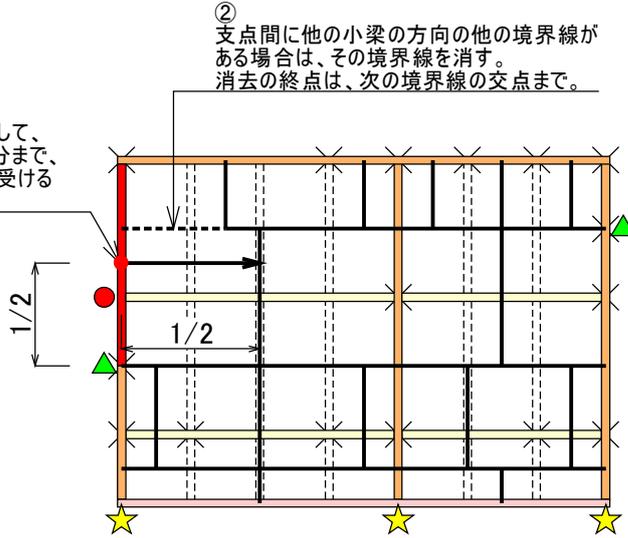
①
 根太(甲乙梁)を受ける全ての梁について
 梁のスパン中央を始点として、根太方向へ
 境界線を引く
 終点はIIで引かれた境界ラインとする。



荷重分布図の書き方

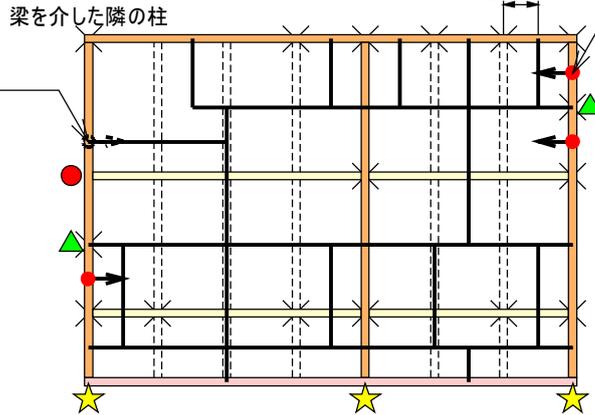
IV

- ① ● 印の梁のスパン中央を始点として、小梁方向に、小針のスパンの半分まで、境界線を引く。(両側から小梁を受ける場合は、両側)



V

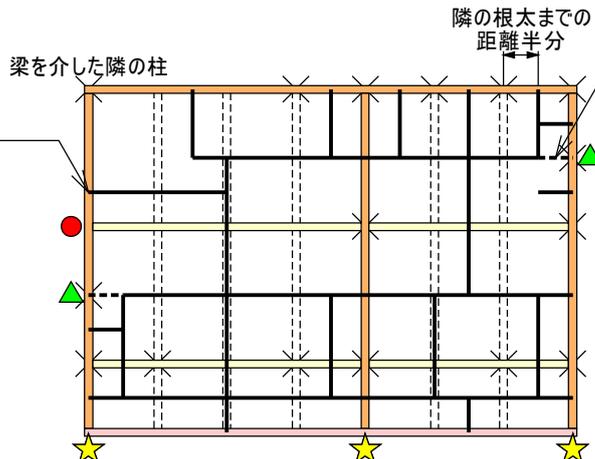
- ② 梁を介して隣の柱の手前に ● 印がある場合は、その境界線を引かない。



- ① ▲ 印の付いた柱と(梁を介して)両側にある柱の中央を始点として、根太と直行方向に境界線を引く。終点は、隣の根太までの距離の半分まで。

VI

- ② 梁を介して隣の柱の手前に ● 印がある場合は、その境界線を引かない。

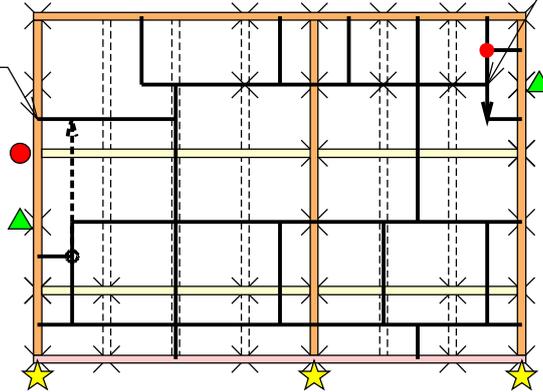


- ① ▲ 印の付いた柱を始点として、IIで引いた境界線を消す。消去終点は隣の根太までの距離の半分の位置まで。

荷重分布図の書き方

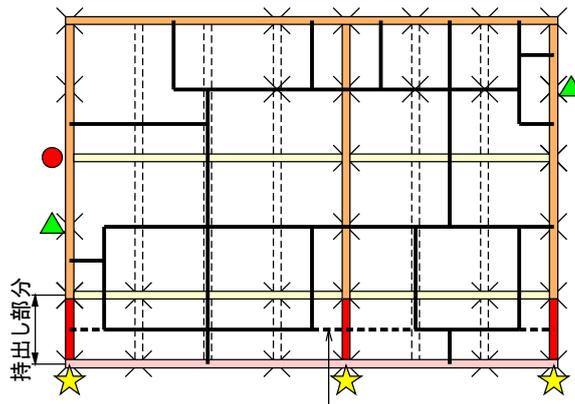
VII

②
V-1の終点と、V-2の終点を結ぶ線が存在しないので境界線は引かなくても良い。



①
VIの終点と、VIの終点を結ぶ境界線を引く。
※当該所に概に線が引かれてる場合もある。

VIII



①
印の付いた持出し梁の持出し部分に直行する境界線を消す。
消去の終点は次の境界線の交点まで。

IX

外壁ラインを書いて完成

